

学校法人 榎園学園
鹿児島環境・情報専門学校
校長 榎園克寿 殿

学校関係者評価委員会

評価委員

主 山 龍 男



評価委員

藤 田 豊 美



学校関係者評価 報告書

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

- 1 評価日時 令和4年2月11日(土) 午前10時00分～12時30分
- 2 評価場所 鹿児島市田上3丁目4-8 鹿児島環境・情報専門学校
- 3 評価内容
 - 1 学校内容・学生状況
 - (1) 実績に必要な専門的知識及び技能を修得させるという本校の目的を達成するための教育活動が充実し、学生の取り組みも積極的になされ、その成果が諸資格取得につながっている。
 - (2) 公害防止管理者水質4種の難関国家資格を取る学生もいて、指導の成果が認められる。
 - 2 卒業研究発表会、その他
 - (1) 研究に用いた資料の数値をよく生かし、論理的思考を進めているため、かなり良い研究が出来ているようだ。
 - (2) 故郷の海から環境問題を考えていることは、きっと良い未来につながるに違いないと思われる。
 - (3) 研究発表テーマが時宣を得た内容であり、発表態度も落ち着き、説明の仕方もしっかりしている。
 - (4) 資料がよく整理された、表・グラフ等適切に活用されている。
 - (5) 個人発表の後の良い点や課題等について評価をしてあげると、個人の今後の取り組みに生かされる。
 - 3 自己評価・学生アンケート
 - (1) 生徒数の減少が、アンケートの結果に影響を及ぼしているようだ。もう少し、なんとかすべきと思う。
 - (2) それぞれの評価が適切になされ、今後の改善に生かされる内容になっている。
 - (3) 学生募集のあり方について自己評価を考慮し、改善策を具体的に考えたい。
 - 4 全 般、総 評
 - (1) 研究発表の中で不法投棄は物だけでなく“生物”もあると教えてもらいました。
 - (2) 数年前までは学生の就職がかなり心配だったが、今日就職率ほぼ100%という高い値には嬉しい限りである。
 - (3) 学校全体の取り組みとして具体的な実践がなされ学生の諸資格取得に生かされている。障害を持つ学生が資格取得し就職もできる状況に指導がなされている。
 - (4) 学校経営上学生の定数獲得が課題である。広報・訪問等の工夫した改善が望まれる。